



なかよし



メディア機器利用等のQ&A その2

前回の続きで、保護者の皆様から出た質問の回答を掲載いたします。お子様への声かけ、これからお子様がスマートフォンやゲーム機等のインターネットを使用する時の参考にしていただけたら幸いです。



質問③

ユーチューブやドラマを見過ぎていて困っています。ずっと見張ることもできず日々苦戦しています。どのように対処をするとよいでしょうか？

スマートフォン等でインターネットを使う際は、ルール作りが大切です。ルール作りは保護者とお子さんで互いに話し合い、しっかり納得して決める必要があります。ルールの中身は、「時間」「場所」「お金（課金）」等、具体的に決めてください。なお、保護者が、一方的に決めたルールを守らせようとすると上手く行かない場合があります。



質問③の回答



質問④

ユーチューブの投稿をしている子がいるという話を聞きました。子供の関心の高いものに関して保護者がどのように関わればよいでしょうか？

子供たちは、年々成長しています。年齢と共に、興味の幅も広がります。ユーチューブ等の投稿サイトでは、子供の目に触れさせたくない有害な内容もあります。フィルタリングでお子さんの成長に応じた設定を行うとともに、スマートフォンの使い方をお子さんとしっかり話し合う時間をもつことが大切です。

※動画の投稿は個人情報の手掛かりになるものがたくさん入っています。また、県内の小中学校ではお子様の動画投稿を心配する声がたくさん寄せられています。動画の削除には時間がかかったり、手続きが非常に煩雑であったりします。投稿は絶対にしないよう御家庭でも再度、お子様と御確認ください。



質問④の回答



質問⑤

友達がスマートフォンを持っていて、子供がラインをしたいようでスマートフォンをほしがっています。年代別で(前にお話をいただいている話でもいいので)実際に起こっているトラブルを教えてください。

SNSは、世界中の多くの人と情報を交換することができてとても便利です。しかし利用者の中には悪意を持った人が大勢いることも事実です。また、相手がいつも本当のことを言っている(書いている)とは限りません。SNSで知り合って、会いに行ったら帰らぬ人となった悲惨な事件(座間の事件等)も起こっています。

※竹来中ではSNSによる友達とのトラブルの未然防止のため、友人間及び知らない相手とのSNSはしないように、となっております。小中学生のSNSのトラブルは子供の心に大きな傷を残してしまうこと、問題が表面化された時には大きくなってしまふことがあります。その点も踏まえて、考えていく必要があると思います。



質問⑤の回答



ゲーム等の使用について約束事はあるけれど、守っていません。またゲームができないとイライラする 때가 あります。他の御家庭ではどのように対処しているか、教えていただけないでしょうか？（ゲームに関する質問も含む。）

質問⑥

昼夜の区別なくオンラインゲーム（インターネットを介して行うゲーム）に夢中になってしまい、依存症になってしまう例が報告されています。日常生活を送れなくなるほど深刻な場合は、専門の医療機関に診てもらうことも必要になってきます。しかし、そこまでの段階でなければ、どうしてルールが守れないのか、ルールを決めるときにお子さんはきちんと理解したのか、振り返りを行い、再度ルール作り（時間・場所・課金等）を行ってみてはいかがでしょうか。
※県内の小中学校で、オンラインゲームを介した友達同士のトラブルやゲームに夢中になってしまい、日常生活に支障をきたしてしまった例があります。それらのリスクがあることを認識し、お子様が上手に付き合っていくようにサポートしていく必要があります。



質問⑥の
回答



周りの友達が自分専用のスマートフォンやタブレットを持ち始めているため、ラインや通信をしたいと言われます。今は必要性を感じないので、うちでは持たせていません。友達と不和が生じないか心配です。

質問⑦

子供たちは、周りの友達が持っていて、自分が持っていないと仲間外れにされるのでは？といった不安な心理が働くかもしれません。しかし、保護者が御家庭の方針で必要性を感じないのなら、その理由をしっかりとお子さんに伝え、理解させることが大切だと考えます。友達と同じである必要はないし、同じ物を持つこともない、むしろ、違いを互いに認め合うことがこれからの時代には大事になってくると思います。



質問⑦の回答



携帯電話を使用する時間の減らし方で効果的な方法はないでしょうか？

質問⑧

機能的な方法としては、ペアレンタルコントロールで利用時間等を制限する方法があります。

友人と遅くまで会話（メール）しているなどのケースでは、あえて保護者が悪役になって、一定の時間になったら会話（メール等）止めさせるといった方法もあります。例えば、子供たち本人は、友人に話を終わりにしようと言いつけないので、「親が厳しくて…」と言って、あえて親を悪者にして、会話を止めることが考えられます。



質問⑧の回答



これからの社会でメディア、ITはどういった世界になっていくのでしょうか？

質問⑨

ITは情報技術と訳されています。今後は、これまでの伝統的なやり方から、コンピュータとネットワーク技術を使って新しいやり方に変わっていくことが予想されます。

例えば、学校では、黒板の代わりに電子ボードを使い、先生が板書した内容がそのまま生徒のタブレット端末に送られるようなことも実現しています。また、通信の世界では、5Gと言われる「第五世代移動体通信」が始まっています。

5Gの特徴は、①高速で大きな容量の通信ができること、②信頼性が高く低遅延の通信ができること、③多数の機器に同時に接続ができること、このような特徴から、例えば車の自動運転とか、ドローンの無人操縦技術などもすでに実証試験の段階に入っています。



質問⑨の回答